

# 令和3年度北広島市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

地域は、米・小麦・飼料作物・馬鈴薯などを基幹とし、大根・人参・キャベツ・長ねぎ・レタス・ブロッコリーなどの野菜が作付されている。水田転作では飼料作物が多い状況であるが、野菜等の有利性の見込める作物の作付推進を図りつつ、今後も大消費地札幌圏内に属している利点を活かし、地域の農業のさらなる発展に繋げるため、これら多種多様な営農形態に柔軟に対応していく必要がある。

地域の課題としては、担い手の減少・高齢化による将来の農地の遊休化が懸念されるため、優良農用地の維持保全と農用地の有効利用や農業後継者の育成・確保が課題となっている。

今後は、農地中間管理機構の事業を活用も検討し、担い手への農地の利用集積率の維持及び向上を図っていく。

## 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本市において収益性の高い水田農業経営への転換を図るため、産地交付金を活用しながら、主食用米と比較して面積当たりの所得が高い野菜等の高収益作物や水田作に占める同作物の作付率は約9%と低い状況となっている。

今後、水田をフル活用しながら、多様なニーズに対応した競争力のある農産物の計画的かつ安定的な生産・供給が可能な産地づくりを一層進め、収益性の高い水田農業経営への転換を図るため、本市においては、関係機関が連携して推進体制を構築し、高収益作物を推進する。

なお、時間当たりの所得が高い子実用とうもろこしの作付について、本市においては今後の検討課題とし、具体的な推進体制は構築しない。

高収益作物の導入にあたっては、需要が増加している野菜の安定生産や、消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、高品質で安定した生産による産地ブランド力の向上、地域に適応した品種の選定・普及及び栽培技術の改善等の省力・低コスト生産技術の導入などの取組を通じて、特色ある産地づくりや、収益力の向上による経営の安定化を進める。

## 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本市において、水田面積のうち、水稻以外の作物を作付している割合は、約71%となっている。

本市の現状としては、担い手である認定農業者及び認定新規就農者への集積率については68%(畑地含む)となっており、畑地化を検討する以前に、今後さらなる担い手の育成・定着が喫緊の課題である。

また、現在、個人の担い手単位では暗渠・客土を中心に圃場整備が進んでいるが、地域単位では、畑地化の前提条件の1つでもある大区画化等の区画整理が進んでおらず、結果、畑地化に至っていない状況である。

上記のことから、畑地化は今後の検討課題とし、具体的な取組は定めないが、今後、作物の本作化や、計画的な農地の集積・集約化を図ろうとする場合などに、必要な畑地化の取組を進めることができるよう、畑地化に係る支援内容の情報提供や、地域の対応方針の検討を行う。

なお、具体的に畑地化の取組を進めることとなった場合、「人・農地プラン」により描かれた地域の将来像や、担い手の農業経営改善計画など、効率的な土地利用に配慮する。

## 4 作物ごとの取組方針等

### (1) 主食用米

近年北海道米の評価が高まっているため、売れる米づくりのために品質の向上や地域に適した品種の作付によって手取額の確保を図るとともに、需要に応じた生産を図る。

### (2) 備蓄米

本市においては備蓄米の取組は今後の検討課題とし、具体的な取組は定めない。

### (3) 非主食用米

非主食用米の有効な活用により安心・安全で低コストな北海道米への多様なニーズに対応した安定生産・安定供給を図るとともに、水田機能（水張面積）の維持と生産力の確保を図る。

このため、基本技術の励行による収量の安定化、生産工程管理の実践、複数年契約に基づく生産なども推進するとともに、生産者の高齢化や労働力不足等への対応として、直播栽培をはじめとする省力的な生産技術の導入、作業委託による労働の外部化、肥培管理におけるコスト削減に資する技術の導入などを進める。

#### ア 飼料用米

水田機能（水張面積）を維持しつつ、主食用米からの転換を進めるにあたり、令和3年度においては、非主食用米の取組の中心的品目と位置付ける。

#### イ 米粉用米・新市場開拓用米・WCS用稲・加工用米

本市においては米粉用米の取組は今後の検討課題とし、具体的な取組は定めない。

### (4) 麦、大豆、飼料作物

小麦は反収がやや低いため収量増に努めるとともに、また実需者より求められる高タンパク含量の生産にも併せて取り組む。

大豆は契約栽培が多くを占めるようになってきており、品種、品質、数量確保による契約維持に努めていく。

飼料作物は良質な飼料作物生産のため、暗渠等の基盤整備と計画的な草地更新を図る。

### (5) そば、なたね

現行の栽培面積維持に努める。

### (6) 高収益作物（園芸作物等）

野菜は雇用労働力を積極的に利用しながら、露地栽培を中心しつつ収益性の高い施設栽培への拡大を推進する。

また、継続出荷が可能となるように都市近郊型農業として、市場出荷のほかに直売など消費者との距離が近い販売形態にも力を入れる。さらに安定した収穫量を確保するため、暗渠等の基盤整備を進める。

- (7) 馬鈴薯・小豆・てん菜  
馬鈴薯、小豆・てん菜については、野菜とともに作付面積の維持・拡大を図っていく。
- (8) 花き・花木・果樹  
栽培面積維持に努める。
- (9) 地力増進作物  
土づくりの推進、輪作体系の維持のための作付を図る。
- (10) 不作付地の解消  
北広島市地域農業再生協議会の活動によって、不作付地が生じないように事前の調整を行うが、不作付地が生じた場合は早期に解消できるように担い手への斡旋等を図る。
- (11) 耕畜連携  
水田の有効活用を図るため、耕種農家と畜産農家が連携した取組を進める。

## 5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	150.04	143.94	150.04
備蓄米			
飼料用米	0.00	6.10	0.00
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦	27.21	27.25	31.15
大豆	31.89	31.34	35.12
飼料作物	227.09	227.50	227.50
・子実用とうもろこし			
そば	13.25	6.00	6.00
なたね			
高収益作物	48.90	57.03	57.43
・野菜	47.97	56.10	56.50
・花き・花木			
・果樹	0.93	0.93	0.93
・その他の高収益作物			
その他	30.09	29.32	21.24
・小豆	1.20	2.00	2.55
・地力増進作物	16.85	15.00	18.00
・その他	12.05	12.32	18.00
畑地化	0.00	0.00	0.00

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	麦、大豆（黒大豆含む）、飼料作物、そば、小豆（全て種子を含む）	品質・収量向上 対策加算	土壌分析 CEC (me 値)	(令和2年度) 22.42	(令和5年度) 24.60
			そば反収	(令和2年度) 67kg/10a	(令和5年度) 96kg/10a
			作付面積	(令和2年度) 300.655ha	(令和5年度) 302.32ha
2	馬鈴薯、野菜、てん菜、豆類、果樹、花卉・花木、その他作物（全て種子含む）	品質・収量向上 対策加算	土壌分析 CEC (me 値)	(令和2年度) 21.10	(令和5年度) 21.50
			ブロックリー反収	(令和2年度) 1,059kg/10a	(令和5年度) 1,080kg/10a
			作付面積	(令和2年度) 48.64ha	(令和5年度) 57.43ha
3	馬鈴薯、野菜、花卉・花木、てん菜、小豆、豆類、果樹、その他作物（全て種子含む）	地域振興作物助成	対象作付面積	(令和2年度) 50.10ha	(令和5年度) 59.98ha
4	そば（種子含む）	そば作付助成	対象作付面積	(令和2年度) 13.25ha	(令和5年度) 6.00ha
5	野菜、花き、花木（全て種子含む）	塩類集積対策	作付面積	(令和2年度) 0.88ha	(令和5年度) 1.00ha
			取組面積	(令和2年度) 0.88ha	(令和5年度) 0.94ha
			ピーマン反収	(令和2年度) 8,248Kg/10a	(令和5年度) 8,250kg/10a
6	飼料作物（牧草）	草地更新助成	草地更新面積	(令和2年度) 4.20ha	(令和5年度) 9.01ha
			牧草作付面積	(令和2年度) 197.49ha	(令和5年度) 197.49ha
7	地力増進作物（1年緑肥）	土づくり助成(1年)	作付面積	(令和2年度) 16.85ha	(令和3年度) 18.00ha
8	飼料作物	耕畜連携助成（水田放牧・資源循環）	耕畜連携取組面積	(令和2年度) 11.62ha	(令和5年度) 20.00ha
			飼料作物作付面積	(令和2年度) 227.09ha	(令和5年度) 227.50ha
9	飼料用米	転換作物拡大加算(飼料用米)	作付面積	(令和2年度) 0.00ha	(令和3年度) 6.10ha
			転換面積	(令和2年度) 0.00ha	(令和3年度) 6.10ha
10	飼料用米	複数年契約	作付面積	(令和2年度) 0.00ha	(令和3年度) 6.10ha
			複数年契約面積	(令和2年度) 0.00ha	(令和3年度) 0.03ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。